

古賀の将来像の投票結果

1. 投票対象 (1) 古賀竟成館高等学校生徒 (「未来のまち・さと・やま・うみ」放課後ワークショップ参加者: 11人)
 (2) ぐりんぐりん古賀会員 (個人: 45人/団体: 23人)
2. 投票数 (1) 古賀竟成館高等学校生徒: 10
 (2) ぐりんぐりん古賀会員 : 13
3. 投票結果

【候補①】	投票数		
	ぐりんぐりん古賀	古賀竟成館高等学校	合計
<p style="text-align: center;">人も まちも 生きものも 共に生き 共に育つ ～人と生きものが共に生き共に育つまちをめざして～</p> <p>≪候補①のイメージ≫ 人と生きものが共に生き、共に育っていくことで、豊かな自然もありながら、活気にあふれ、人も自然も生きものも、そして、まち自体も元気に発展していくことをイメージしています。</p>	3	2	5
<p>【選んだ理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像を、前向きに大きく捉えており、リズム感もGOOD! ・歯切れが良く、わかりやすい表現なので、多くの世代に受け入れられると思います。 ・人と生きものが共に生きるという所に惹かれました。 ・生き物も大事だが、街の発展も欠かせないので両立できる候補①を選んだ。 			

【候補②】	投票数		
	ぐりんぐりん古賀	古賀竟成館高等学校	合計
<p style="text-align: center;">豊かな自然と活気あるまち 育ち続ける ふるさと古賀 ～戻ってきたいふるさとへ……。豊かな自然と活気ある古賀～</p> <p>≪候補②のイメージ≫ 豊かな自然はそのままで、大人になって帰ってきてても「懐かしい」と思えるふるさとであってほしい。けれど、自然を守るだけではなく、自然と経済の調和のとれた活気あるまちに育ってほしい。そんな想いをイメージしています。</p>	1	2	3
<p>【選んだ理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然も、人々の活気もある古賀市であることがこれからも続いてくれればよいと思うから。 ・大人になって帰ってきたとき、懐かしいと思えたらうれしいと思うから。 			

【候補③】	投票数		
	ぐりんぐりん古賀	古賀竟成館高等学校	合計
<p style="text-align: center;">自然の恵みに感謝し、次世代へ引き継ぐ 自然と共に育つまち ～つなげたい！古賀の生命 伝えたい！共に生きる力～</p> <p>≪候補③のイメージ≫ 自然の恵みに感謝し、大切にしながら、いつまでも活かし続けることができるように、生物多様性を保全していく。そして、恵みを生み出す生物多様性に配慮しながら、人と自然が共に生き、共に育っていくまちをイメージしています。</p> <p>【選んだ理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古賀市内で、例として、トノサマガエル、ツチガエル、ヘイケボタル等を見かけることができなくなったいわれがあります。昔はサワガニを多数見かけましたが、現在は見かける量は減っています。ミツバチが死滅する事案もあります。 人は意識する、しないに関わらず、自然の恵みに浴しています。そこへ感謝していくことは忘れてはいけないと思います。“ただ虫を無視しない”農業を提唱された宇根豊さんのことばかりが好きで、世の中全ての生きものと共に生きていくことが大事です。 元気な感じがするかな。 生物多様性の保全が約束されているイメージがある。 持続可能な社会というものを暗示しているように見えるから。 感謝が好きだから！ 古賀がずっときれいなまちであってほしいから。 	6	4	10

【候補④】	投票数		
	ぐりんぐりん古賀	古賀竟成館高等学校	合計
<p style="text-align: center;">古賀の環が 豊かな自然と元気なまちを 創ってゆく ～環を広げ 豊かな自然と元気なまちを 次世代へ～</p> <p>≪候補④のイメージ≫ 共生の「環」、共働の「環」、循環の「環」。様々な「環」が、古賀の自然を豊かにし、元気なまちを創っていき、次世代への引き継いでいくことをイメージしています。</p> <p>【選んだ理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③と迷いましたが、戦略における将来像なので、人の関わりが表にあった方が気がしたので選びました。合体して、「古賀の環が創る 自然と共に育つまち」とか。 古賀市民の、一人ひとりが、この環づくりに参画できよう、意識アップの活動をやりたい。元気なまちづくりは、その意識が大切と思うが、これこそ難問の世界だと思う。その、きっかけづくりの発端になればな～。 古賀は犬鳴の山々、玄界灘、成長著しい新宮町を挟みアジアリーダー都市を目指す福岡市、歴史や海の幸豊かな福津市にも囲まれ閉塞感ある日本の中でもまだまだ成長していける街。まだ残された自然を大切に、一方で破壊された環境を元の循環に戻し、環境負荷を抑え環境と共生しながら発展していく事がなにより大切だろうと思うからです。 キーワードの「環」に惹かれました。環境の「環」でもある。自然環境、生活環境、職場環境と様々な環境の改善も次世代へ引き継ぐのに必要なファクターです。日本人は和とともに環も大切に生きてきた民族。それを忘れずに成長していくことが望ましいと思えるから。 古賀の自然を最も自然的な観点から尊重したものであり、いくつかの環を明らかに、そして大切にすることで、より現実的に共生していくまちになっていくのではないかと考えたため。・持続可能な社会というものを暗示しているように見えるから。 	4	1	5